

小児・AYA がんトータルケアセンター

■ スタッフ

センター長	(小児科医)	岩本彰太郎
副センター長	(小児科医)	天野敬史郎
副センター長	(小児看護専門看護師)	河俣あゆみ
センター員	(小児科医)	淀谷 典子
センター員	(看護師)	末藤 美貴
センター員	(看護師)	井倉 千佳
センター員	(看護師)	仲野 里美
センター員	(看護師)	船尾 美菜
事務員		柳谷 晴美
事務員		山下 由貴

■ 特色・診療対象疾患

本センターは、今年新たに小児在宅部門と AYA がん部門で構成されました。入院中および外来の子どもや家族に対する医療の相談活動と共に、在宅・学校など病院外で生活する子どもや家族の生活支援のための地域連携や多職種からの相談活動や教育的支援を行っています。特に医療的ケアを要する在宅で生活する子どもや小児がんおよび AYA がんの子どもと家族への支援を行います。医療的ケア児やがんの子どもの在宅訪問診療、看護の実践をしています。

【小児在宅部門の活動】

1. 在宅移行支援・在宅生活支援

・在宅移行支援・在宅生活支援：NICU 看護師、小児病棟看護師、当センター看護師と MSW が 1 回/週、在宅支援カンファレンスを実施しています。総数は 42 名でした。

2. 訪問活動の実績

・訪問診療・訪問看護

当センター医師及び看護師による訪問診療・看護を実施しています。小児在宅指導・加算算定点数計は 5,653,796 点でした。

今年度は新型コロナウイルスの影響により訪問活動を制限しましたが、呼吸器使用児の在宅訪問や小児がん終末期の訪問診療・往診を計 15 回行いました。対象児は 8 名です。

・小児支援部会の開催

月 1 回、在宅移行・在宅生活中の子どもに加え、今年度より AYA がん患者に関する検討も行き、子どもと家族支援について、多職種による検討を行っています。地域医療機関・関係施設との研究会を開催し、顔の見える関係作りをしています。

3. 相談活動・地域連携

・相談活動

《病院内》

医師・看護師・薬剤師からの相談が 142 件ありました。

《病院外》

病院外からは、家族、保健師、訪問看護ステーション、他医療機関などから 206 件の相談がありました(家族を除く)。

相談件数合計	件数 (件)
院内	142
医師 (院外)	24
家族	80
本人	12
保健師	24
訪問看護師・園看護師	57
相談支援専門員	28
児童相談所	5
薬剤師	7
他医療機関	16
行政教育課	47

・地域連携

《三重県小児在宅研究会の開催》

小児在宅支援に関わる多職種や関係機関と小児在宅研究会を通じて、顔の見える関係づくりと連携を図っています。

《児童虐待相談部会》

事例検討を通じて児童相談所や保健師と連絡・調整を行っています。

4. 三重県小児在宅医療推進ワーキンググループ

・三重県小児在宅医療推進ワーキンググループ

月 1 回、三重県庁にてセンタースタッフと三重県ワーキングメンバーによる三重県における小児在宅の充実について話し合いを行っています。

《三重県ワーキングメンバー》

三重県

医療保健部 地域医療推進課
健康づくり課
長寿介護課
子ども・福祉部 子育て支援課
障がい福祉課
三重県教育委員会 特別支援教育課

げるシーティング

対象者：多職種

参加者：101名

・第11回にじいろネット

対象者：多職種

参加者：107名

・令和4年度 医療的ケアを要する重症児・者の地域ネットワーク連携研修会

対象者：多職種

参加者：135名

・障害福祉サービス等事業所等職員向け医療的ケアスタートアップ・技術スキルアップ研修会
全8回開催 参加者：102名

5. 教育活動の実績

- ・令和4年度第1回小児在宅看護研修会
テーマ：小児在宅看護の基礎知識・医療的ケア初期研修会
対象：訪問看護師、病院看護師、学校看護師、幼稚園・保育園看護師、福祉事業所の看護師
参加者：24名
- ・令和4年度 医療的ケア児・者の地域ネットワークにおけるスーパーバイズ機能推進研修会
対象：多職種
参加者：64名
- ・第11回三重県小児セラピー研究会
テーマ：今と未来をつなぐために！
対象者：多職種
参加者：132名
- ・第7回小児がん診療体制における東海北陸ブロック多職種連携研修会
対象：東海北陸ブロック多職種
参加者：45名
- ・第7回三重県小児在宅医療実技講習会・講演会
テーマ：医療的ケア児の医療連携の在り方を考える
対象者：医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
参加者：68名
- ・第22回三重県小児在宅研究会
テーマ：こどもと家族の暮らしを支えるために～保健・福祉・医療ができること～
対象者：多職種
参加者：107名
- ・第10回にじいろネット
対象者：多職種
参加者：105名
- ・令和4年度第2回小児在宅看護研修会
テーマ：心疾患を有する子どもの生活支援
対象者：訪問看護師、病院看護師、学校看護師、幼稚園・保育園看護師、福祉事業所の看護師
参加者：105名
- ・第12回三重県小児セラピー研究会
テーマ：重症児・者の希望をつなぎ、世界を広

【AYA がん部門の活動】

1. AYA がん患者に関する相談活動

AYA 支援チーム活動を通じて、39名の患者に対する相談を受けました。相談内容は心理的支援、教育支援、在宅生活支援、就労支援、家族支援でした。

2. 教育活動の実績

AYA がん研修会を1回/月開催継続しています。

- ・第6回：社会的・経済的支援
- ・第7回：心理的支援
- ・第8回：若年成人における乳がん患者の支援～多職種による支援の検討～
- ・第9回：固形腫瘍治療が必要な思春期患者の妊孕性温存
- ・第10回：脳腫瘍で治療を受ける AYA がん患者の支援 ～高校生支援の実際～
- ・第11回：AYA がん患者の子どもへの支援
- ・第12回：AYA 世代のがん患者に対する放射線治療
- ・第13回：AYA がん患者における、機能予後を見据えたリハビリテーション～理学療法士としての関り～
- ・第14回：脳腫瘍で治療を受ける AYA がん患者の支援 ～放射線療法～
- ・第15回：AYA 世代の造血器腫瘍（白血病・リンパ腫）～当院での CAR-T 細胞療法について～
- ・第16回：AYA がん患者への緩和ケア～治療抵抗性のがん患者と関わるために知っておきたいこと～
- ・第17回：AYA 世代のがんにおけるゲノム診療

▶ <https://child-aya.med.mie-u.ac.jp/>